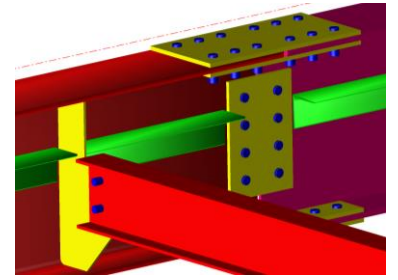


梁のウェブにデッキ受けを入りたい！ かさ上げ材で入力できます。

梁のウェブにデッキ受けを配置したい場合、かさ上げ材として登録・配置します。



例) L形鋼のデッキ受けを階高から-130 下がりの高さで梁のウェブに配置

【二次部材マスター】 - 【かさ上げ材】 でL形鋼のデッキ受けをかさ上げ材として登録します。



スプライスプレートとデッキ受けとのすきまは**スプライスとのすきま WEB** で設定します。

ガセットやリブとのすきまは**パラメーター - 二次部材作成 - 45.かさ上げ材 - 1) 子梁とのすきま (mm)** でガセットの面からのすきまを設定します。(納め方向も 1) 子梁とのすきまを参照します)

【デッキプレート】 - 【入力】 でデッキプレート範囲を入力します。

デッキプレートの高さは階高が基準になっているため、デッキプレート入力後に高さを修正します。

【デッキプレート】 - 【勾配修正】 で配置したデッキプレート範囲をクリックし、本体の勾配 - 入力・修正と同様の方法で設定します。

今回は階高から-130 下がりて配置するため、**フラット**を選択し、階からの上下-130 と入力します。

デッキ受けを配置します。【かさ上げ材】 - 【平行入力】 をクリックします。

入力シートの【基準指定】は【デッキプレート】を選択し、

【タイプ】は『3-デッキ受け』、【接続鋼材部位】は『3-ウェブ』を選択します。

かさ上げ材 - 平行入力 [420]	
基準指定	接続データ
	階高
	デッキプレート
項目名	設定値
部材名	L75
サイズ	L-75x75x6
タイプ	3 - デッキ受け
上下	0
配置基準	3 - 右側
配置基準(側面)	1 - 部材芯
接続鋼材部位	3 - ウェブ
ずれ基準	2 - 左
ずれ量	0
部材向き	4 - 横右下



符号管理や加工図・帳票では、かさ上げ材の入力時に【タイプ】で選択したデータ種類で表示します。

【3-デッキ受け】にして配置することで、かさ上げ材で配置したL形鋼も『デッキ受け』として表示されます。

必要に応じて【配置基準】や【ずれ量基準】、【部材向き】などを設定し、

基準になるデッキプレート、デッキ受けを入りたい親梁・左右の端部材の順にクリックして配置します。

